

デイサービス ひまり
デイサービス こひまり

運営推進会議 議事録

実施日時：2024年7月31日(水) 14:30~15:50

実施場所：デイサービス ひまり 事務室

出席者：あんしん支援センター 1名
地域代表 1名
ご利用者家族代表 (デイサービス ひまり) 1名
〃 (デイサービス こひまり) 1名
株式会社 ひまり代表 1名
デイサービス ひまり 1名
デイサービス こひまり 2名

【デイサービス ひまり】への意見交換

◎新しい試みとしての【家族と職員共同の『勉強会』開催】について

ご家族より⇒ネット社会が普及しても、家族としては対面で実際に教えて頂けるとありがたい

ひまり⇒ご利用者の生活を支える上で、生活に関わる人々が同じ方向性をもっていることは非常に重要であると思われる。認知症等の疾患に対する知識やケアの方法、またはご家族の抱える悩み等、共有することはとても大切と思われる。アンケート結果より、参加希望が予想より少数であったが、新たな試みとして一緒に勉強できる機会を作りたい。

【デイサービス こひまり】への意見交換

◎食事はどのように提供されていますか？

こひまり⇒ご飯・味噌汁は施設にて調理し、主菜・副菜は外注の物を適温に整え提供。
施設の畑で収穫した季節の野菜も利用し、お茶請けや汁物に使用している。

◎アンケートに回答できるくらいしっかりした方が入居されているか

こひまり⇒基本的には無記名にてご回答いただいたが、ご自身で回答可能な方から、質問を分かりやすくお伝えし口頭で回答いただく方まで、理解度も回答形式も様々。その方に沿った方法でご回答いただいた。

【全体的な質疑応答】

(ご家族様より)

◎ケアマネジャーとはこういった立ち位置と認識すると正しいのか。

気を遣ってしまって、言いたいこともなかなか言えず、家族の思いも伝わりにくいとを感じる。

介護の窓口へ相談に行ったが、「ご家族様次第でケアマネジャーの交代は可能です。」との回答があったが、なかなか言い出しにくい。

あんしん支援センター様

⇒ケアマネジャーの交代の相談は少なからずあります。人と人との関係性なので、どうしても合う合わないがあるのは仕方ないと思われるので、遠慮なく相談されてもよいと思います。

(ご家族様より)

◎介護保険とは介護度はずっと変わらないのか？今まで調査があった記憶がない。

将来的には施設入所も検討しており、認定当初より変わってきたところもあるため、今の状態にあった介護度であるのか相談したい。

あんしん支援センター様

⇒認定期間があり、期間満了前には市役所から連絡があり、調査員の更新調査がある。

認定期間内に、介護の量や介護にかかる時間等が変化してきている場合には、変更申請という手続きもあるため、担当ケアマネジャーと相談される必要がある。その上で変更が必要と考えられる場合は、変更申請となる。

デイサービス

⇒ご家族様もお気づきのように、少しずつ介助の量が増えてきている現状です。変更申請に関しては、担当のケアマネジャーと相談される必要があるかと思います。

(R6 介護保険改定について) ひまりより

◎3年毎の介護保険改定にて、少しずつ厳しい改定になってきている。今年より追加になった法定研修や委員会等を実施するまでにかかる時間も、日常業務の上に課され、人的にも時間的にも厳しい状況。

⇒行政の協力も得て解決していけたらありがたいと考えており、毎月法定研修の一部を実施してくださる機会があれば、介護現場を担う事業所としてはありがたい。事業所としても各事業所内で行う研修よりは内容も濃いものとなることで、スキルアップにつながると考える。また市内の事業所間の知識差も生まれにくく、市全体のスキルアップにつながればと考える。さらに、それにより出来た時間的余裕は、本来事業所として大切にすべき「利用者に関わる時間、利用者に楽しんでもらう時間」に置き換えることで、業務的負担の軽減や本来の介護という仕事に対するモチベーションの向上につなげることも可能と考える。

運営推進会議を終えて

【デイサービス ひまり】

今回の運営推進会議を通じて、参加して頂いた利用者様のご家族様より、貴重なご意見を伺う事ができ、効果的なコミュニケーションの重要性を改めて認識しました。特に相手の立場や感情を理解することの大切さに気付かされました。ご家族様の心理的負担や身体的負担を理解し、受容と共感を持って、信頼関係を構築できるよう努めてまいります。また、利用日の活動内容やその様子など、写真の添付や分かりやすく記載することにより、連絡ノートを介して、ご家族様との情報交換や心理的負担の軽減となれるよう、さらなる工夫と改善に努力したいと思います。

【デイサービス こひまり】

当事業所は施設内併設のため、ご家族と顔を合わせてじっくりとお話出来るととても良い機会となりました。その中でご家族様より、「利用者様にもデイサービスでの外なる顔とご家庭での内なる顔がある」というお話があり、様々な介護における現場では様々な顔や視点や環境により、抱える問題も違いがあることに気付くことができました。その点からも、居室でのご様子とデイサービスでのご様子の情報共有の重要性も再確認できました。ご利用者様はもちろん、ご家族様の悩みも少しでも軽くなるよう働きかけることも、デイサービスの役割の一つとなり得ると思いました。